

令和3年度 府立久美浜高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針 (中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点 (短期経営目標)
<p>本校の歴史と伝統を踏まえ、校訓「意欲、克己、創造」の精神を培い、社会に貢献できる人材の育成を目標とする。</p> <p>1 総合学科の特色を生かし、社会で求められる力を育成する。</p> <p>2 地域の将来を担う若者力を育成する。</p>	<p>1 成果</p> <p>(1) 研究発表会「寄せN.A.B.E.」では、探究活動や授業の成果を発表したことにより、それぞれの取組の共有が進むとともに、生徒の自信に繋がった。</p> <p>(2) 専門教科を中心に地域連携の取組を進め、15名の社会人講師を活用するなど、教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>(3) 網野高校との遠隔教育システムを活用した「物理基礎」の研修を計画的に進めることができた。</p> <p>(4) 各教職員の日常的な指導により挨拶や身だしなみ等、校外での生徒の様子が改善した。</p> <p>(5) オリンピック・パラリンピック教育推進事業において、部活動生徒を中心に自己有用感を高める取組を進めることができた。</p> <p>(6) 学校だよりを計画的に発行し、本校の取組を広く発信することができた。</p> <p>2 課題</p> <p>(1) 家庭学習習慣の定着や基礎学力の着実な向上に課題がある。教員が目標を共有し、主体的な学習につながる取組を進める必要がある。</p> <p>(2) 進路についての意識の高まりが弱い。取組内容や時期等、キャリア教育の改善が必要である。</p> <p>(3) 学校生活や授業に対して落ち着いて臨むことができる雰囲気を醸成する必要がある。</p> <p>(4) 広報の取組を行っているにも関わらず学校の様子が保護者に十分に伝わっていないことから、方法等について検討する必要がある。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1 論理的な思考力・主体的に学びに向かう姿勢・伝わる表現力の育成</p> </div> <p>(1) 地域創生・貢献をテーマに「総合的な探究の時間」に取り組む。</p> <p>(2) ICT機器利活用、探究的指導により授業改善を進める。</p> <p>(3) 希望進路実現に向けた学力向上の取組を組織的に進める。</p> <p>(4) 地域諸機関、外部人材との連携により、実践的な取組を進める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2 自己有用感の醸成</p> </div> <p>(1) 規範意識の醸成と健全な生活態度の育成を図る。</p> <p>(2) 部活動やボランティア活動等への積極的な参加を促し、充実感や向上心に繋がる指導を行う。</p> <p>(3) 第3学年としてのリーダーシップを養う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3 広報活動の充実</p> </div> <p>(1) 保護者への情報発信の方法を改善する。</p>

(注) 具体的方策についての目標は【 】内に記載。なお、久は久美浜高校、緑は丹後緑風高校久美浜学舎、久・緑は両校を対象とした目標。

A : 3.3~4.0 B : 2.5~3.2 C : 1.7~2.4 D : 1.0~1.6

評価領域	重点目標 (取組の重点課題)	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域をはじめ、中学生とその保護者、中学校教員等に対して、適切な時期に効果的な広報活動を実施する。 【学校だより：組織的計画的発行、HP：日々更新 久・緑】 【生徒募集：志願者の増加 緑】 	A	<p>学校だよりにより、学校の特色をバランスよく発信した。HPも刷新し改善中である。</p> <p>校内の環境整備、破損箇所の修理を適宜行った。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策物品等の購入、iPad等デジタル機器・教材等の購入を行った。引き続き環境整備に努める。</p> <p>職員会議のペーパーレス化は実現できた。Teamsも活用できている。業務の見直しはさらに抜本的な対策が必要である。</p>
	安心・安全・快適な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な安全点検の実施により、危険箇所を早期に発見し修繕を行う。 校内の整理整頓により、快適な教育環境の整備を図る。 光熱水費の節減により、学校運営費の予算を確保する。 【学校評価アンケートでの教育環境満足度75%以上 久・緑】 	A	
	教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 会議のペーパーレス化の推進。 各分掌において業務の必要性を見直す。 分掌ごとに毎月1回「はよ帰ろうデー」を実施する。 【各分掌での業務見直しの実施、「はよ帰ろうデー」の実施 久・緑】 	B	
家庭・地域との連携	保護者への情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> HPをこまめに更新するとともに、一斉配信システムを活用して保護者の教育活動への理解を進める。 【学校評価アンケート：「学校の様子が分かる」の肯定的評価80%以上 久・緑】 	B	<p>HPでの案内はできたが、一斉配信システムは準備できなかった。配布物が確実に届くためにも今後も検討が必要である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の中、実施した行事には多くの保護者の参加があった。</p> <p>また、地域連携による教育活動にも制限があったが、可能な限り効果的な教育活動を進めることができた。</p>
	P T A活動への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の参加を促す行事を計画するとともに、確実な案内を行う。 【いか〜で久美高の対象保護者30名 久・緑】 	B	
	地域連携による教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 様々な教育活動（実習、探究活動、課題研究、部活動、ボランティア活動等）において、地域との連携による活動を進める。 【年間30回以上 久・緑】 【生徒全員による1回以上の地域連携の取組参加 緑】 	B	
学習指導	授業規律の確立 「時を守り、場を清め、礼を正す」	<ul style="list-style-type: none"> 授業を大切にする態度を育てるために、授業規律と教室内の整理整頓の指導を徹底する。 【「授業規律カード」による指導複数回生徒0人 久・緑】 	B	<p>「授業規律カード」による指導生徒が年間で2名いたが、『授業における申し合わせ事項』による統一した指導が各教科担当者でなされ、比較的落ち着いた雰囲気です。授業が行われた。特に、担任を中心にHR教室の整理整頓や美化が徹底され、気持ちよく翌日の朝を迎えられる環境が年間を通し確立した。</p> <p>また2回実施した授業評価アンケートでは「自分自身の学力の伸び」の実感を意識する生徒が講義形式・実技形式の授業ともに上昇した。加えて授業でのICT機器の</p>
	基礎学力の定着と「はぐくみたい3つの力」の育成 (教員の教科指導力向上)	<ul style="list-style-type: none"> 成績不振者へきめ細かくていねいな指導をおこない、学年末に不認定科目がある生徒の大幅な減少を目指す。 【学年末で不認定科目がある生徒の割合10%以下 久・緑】 	B	
		<ul style="list-style-type: none"> 各教科・科目の目標（年間指導計画）を意識し、授業アンケート等による振り返り、ICT機器や様々な教材・教具の活用、探究活動の手法の導入等により授業改善を進める。 【授業アンケートでの「力の伸び実感」回答平均3.5以上（4段階評価） 久・緑】 【公開授業・研究授業参観：教員1人年間2回以上 久・緑】 	B	

		<ul style="list-style-type: none"> ・「みらい探究」や「課題研究」、「総合的な探究の時間」の他、各教科で探究的な活動を計画的に実施する。 ・学校図書館及び新聞を積極的に活用する。 【全生徒による学年発表会での発表 久・緑】 【校内発表会事後アンケートでの「はぐくみたい3つの力」の向上について肯定的回答80%以上 久・緑】 	B		有効活用によって、授業での提示資料のわかりやすさを高く評価する生徒が急増した。これらの生徒の生の声を大切にしながら今後の授業改善に学校全体で取り組んでいきたい。
	農業教育に関する意欲や知識・技能の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な専門知識や技術の習得を図るとともに、農業関連資格の取得を目指す。 ・学校農業クラブ活動の活性化を図り、各種競技会・講習会に積極的に参加する。 【関連資格取得生徒数のべ40名以上・農業クラブ各種競技会入賞3名以上】 久・緑】 	A		
生徒指導	生徒が安心して学校生活を送ることのできる環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権を侵害する行為に対して、全教職員が毅然とした態度で指導する。 ・日常の生徒観察を徹底し、毎週一回アンケート調査を行い、問題の早期発見、早期解決に努める。 【学校評価アンケートでの学校生活への安心度80%以上】 久・緑】 	A	A	<p>毎週のアンケート調査並びに京都府教育委員会いじめ調査においても重大ないじめ事象に該当する回答はなかった。アンケート調査での安心度は80%以上であった。</p> <p>また、毎朝多くの教員が各所で立ち番を行い、明るいあいさつで生徒を温かく迎え入れていることも校内での問題行動減少に繋がっている。</p> <p>部活動については、小規模校ながら上位の大会に多く出場し、継続率は80%以上であった。新型コロナウイルス感染症の影響でボランティア活動、学校行事は制限されたものの参加した生徒の満足度はほぼ100%であった。</p>
	自立・自律した生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の立ち番での指導等を通じて、さわやかな身だしなみ、あいさつ、丁寧な言葉遣いを身につけさせる。 	A		
	生徒の主体的な取組の促進と生徒の自己有用感の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・每学期GOOD CARD旬間を設定し、積極的に生徒を承認する。 ・部活動やボランティア活動への積極的な参加を促す。 ・学校行事において生徒の主体的な取組を進め、成功体験を積み重ねることにより自己有用感や満足感を高める。 【部活動継続率80%以上 久・緑】 【ボランティア活動参加への満足度85%以上 久・緑】 【学校行事への満足度85%以上 久・緑】 	A		
進路指導	希望進路実現に向けての個別指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・就職、進学ともにミスマッチとならないよう、面談等を充実させ、自己理解の深化と進路意識の高揚を図る。 【3年生との全員面談の実施 久】 	A	B	<p>年度当初に個人面談を実施し、希望進路の確認と進路意識の高揚を図った。就職希望者への四者面談は夏季休業中に全員実施し、生徒、保護者そろった場で就職希望先等を確認した。生徒個々の状況に応じて、担任を中心に進路指導部、教科担当者で面談・進学相談を行った。</p> <p>放課後講習を計画的に実施した他、オンラインによる進学講習も実施し、緊急事態宣言下でも学習の機会を保障することができた。土曜講習は、模擬試験の事前事後学習を1学期に2回のみ実施できた。進路未確定生徒への指導を継続する。最終的に希</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後講習や土曜講習（3SP）、教科実習等で専門知識や技術を習得できるよう、関係教員が連携し適切な指導を行う。 ・模擬試験の事前事後指導を充実し、結果の分析や個別面談を行うなど、きめ細かな指導を行う。 【希望進路実現率90%以上 久】 	B		

	キャリア教育を念頭に置いた計画的な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的・組織的な指導により、キャリア教育の充実を図る。 ・生産科学系列、福祉系列の生徒の関連分野への就職・進学を支援する。 	B	望進路実現率は100%である。 緊急事態宣言発令のため、外部講師によるガイダンス等は実施できなかった。環境に関わる大学・学部への進学を希望していた文理特修コースの生徒が農業科の教員の丁寧な指導により合格できた。
健康安全指導	健康で安全な生活を営むための実践的能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室から健康情報を発信し、自ら健康管理できる生徒を育成する。(保健日より、HPでの保健情報) ・食育キャンペーンを実施し、朝食を摂る習慣や食品の成分を考えて食事を選択できる力を身に付けさせる。 【生活習慣・朝食アンケートでのポイント改善 欠・緑】 	A	A 新型コロナウイルス感染症対策としての緊急事態宣言中の校内の清掃・消毒に教職員が協力して取り組めたが、毎朝の健康観察のTeamsへの入力率が100%にならないことが課題である。生徒の出欠状況の把握は災害時にも必要であり、確認のためのシステム確立も課題である。 生徒数減少により掃除場所が限定されることが課題である。 教育相談・特別支援については定期的に会議を持ち、それぞれの生徒に必要な支援ができるよう配慮している。課題はその配慮を本人・保護者と共有することである。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「時を守り、場を清め、礼を正す」を合言葉に、美化・掃除活動の指導を行う。 【清掃の取組アンケートで積極的参加が80%以上 欠・緑】 	A	
		<ul style="list-style-type: none"> ・授業や体育行事での事故防止を図るとともに、安全教育を行い、大きな怪我や事故を防ぐ力を身に付けさせる。 【実習中の事故・怪我ゼロ 欠・緑】 	A	
	教育相談・特別支援の必要な生徒への組織的な指導体制構築と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況について、教員間の情報交換の機会を増やし、スクールカウンセラー及び専門機関と連携した教育相談・特別支援を進める。 ・特別支援の校内研修を実施する。 	A	
人権教育	人権教育の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員対象に人権に関する研修会を実施し、高い人権感覚・人権意識を養う。 	B	B 3学期に教職員向けの研修会を実施した。また、パラリンピアンによる講演会等の機会を通じて多くの教職員が人権教育を見つめることができた。 「振り返りシート」の実施をはじめ、いじめを許さない雰囲気作りができています。パラリンピアンによる講演会や人権講演会により、人権意識を涵養することができた。
	生徒の人権意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関する人権学習を実施し、いじめを許さない雰囲気づくりをする。 ・生徒が互いに尊重し合える関係を育成・向上するために、LHRや学校行事を通して、計画的な指導を行う。 	B	

学校関係者 評価委員会 による評価	各領域において、目標に向けて着実に取組が進められている。広報活動は分かりやすい記事作りやタイムリーな情報発信がなされている。久美浜高校の特色である少人数講座によるきめ細かい学習指導や、一人一人に寄り添った粘り強い生徒指導により、生徒は充実した高校生活を送るとともに、様々な面で自信をつけたり、学力を徐々に向上させたりしており、こうした本校の良さが丹後緑風高校に引き継がれることに期待したい。
-------------------------	---

次年度に向けた改善の 方向性	令和4年度はいよいよ丹後緑風高校久美浜学舎として3学年が揃うこととなる。久美浜高校総合学科において成果を上げてきた「久美高研究発表会『寄せN.A.B.E.』」に代表される特色ある教育活動を引継ぎ、ブラッシュアップするとともに、地域人材や関係機関との連携を軸に、地域を舞台とした学びを展開するなど、「はぐくみたい3つの力」の更なる育成を目指して教育活動を充実させていく。
-------------------	--